令和7年度　事業計画

令和6年度に第8次新潟県地域保健医療計画がスタートし、5疾病6事業及び在宅医療等において、夜間・休日対応を含めた薬剤師・薬局が医薬品提供全般にその役割を果たすための新たな取組が開始された。一方で、本県においては薬局・薬剤師の地域偏在が顕著であり、薬剤師確保計画に基づく適切な施策が確実に進められるかが大きな課題となっている。

近年多発する風水害や地震等の大規模災害発生時においては、薬剤師が果たす役割への期待が大きくなり、本県においても災害薬事コーディネーターの設置と育成への取組が動き始めた。本会としてこれらの取組に積極的に参画するとともに、会員の理解を図るための事業を展開する必要がある。

また、次期診療（調剤）報酬改定及び薬価改定への対応として、会員の理解と適切な保険請求の推進を図るための取組を進める必要がある。

さらには、急速に進む医療DXにおいて、患者のオンライン資格確認によって提供される薬剤や健診等の診療情報を活用することにより、薬剤師が医療の質向上に貢献することが求められる中、オンライン服薬指導や電子処方箋等に対応できる体制整備等、薬局業務の高度化を加速させるために会員への働きかけを続けるとともに、薬局におけるサイバーセキュリティ対策やBCPの作成にも遅れが出ないよう積極的な働きかけを行う。

なお、いまだに解消されない医薬品製造・流通における供給不足は、薬局にとって深刻な状況が続いており、医薬品の安定供給と医薬品アクセスの確保が早期に回復するよう、日本薬剤師会等と連携して引き続き働きかけを行うこととしている。併せて、ジェネリック医薬品の推進を図るため、継続して県民への適切な情報提供に努める。

組織強化策としては、青年部活動の活性化やオーナー会議の継続的な開催により、会員相互の交流を図るとともに本会事業への理解を深め、会員であることのメリットを実感できる事業運営を進めることで会員の増強を図る。

また、学校薬剤師会の本会への組織統合により事業の幅が広がり、会員の増強にも繋がる効果が期待できることから、統合後は学校薬剤師の処遇改善及び環境整備に努めるとともに、事業の見直しを進めて学校薬剤師の資質向上のための新たな事業を展開する。

令和8年（2026年）に新潟で開催する日本薬剤師会学術大会は、多くの会員の理解と協力なくしては成功できない。既に、運営委員会を組織して大会の企画・運営について検討を開始しているが、会員の学術発表と全国的な情報交換の場を提供できる新潟開催の意義について会員の理解を図り、地域薬剤師会及び若手薬剤師の協力を得て、学術大会の成功に向けた準備を加速させる。

これらの目的を確実に達成し、県内の薬局・薬剤師の質的・機能的な強化とかかりつけ機能の充実を図るため、以下の事業に取り組むこととする。

1　組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進（継続）

組織強化の基盤である会員の増加を図る。

① 会員証の発行による研修会受講等における会員以外の参加者との差別化を図ることなどにより、会員の加入促進を図る。

② 薬局のオーナーを対象とした「オーナー会議」を開催し、本会の事業運営等について情報提供を行うとともに薬局オーナーの意見等を聞いて相互理解を図る。

③ 若手薬剤師の資質向上及び県薬への理解促進により組織強化を図るとともに、県薬事業への積極的な参加を促すため「次世代薬剤師ユニゾン」を開催する

(2) 青年部活動の活性化（<u>拡充</u>）

① 青年部員の交流等を目的として定例集会を開催するとともに、交流イベント等により、部員、会員等相互の親睦を図る。

② 若手薬剤師の資質向上を図るための研修会を開催する。

③ 地域薬剤師会との連携を図るため地域活動等に協力する。

④ 学校薬剤師の活動や事業所の職業体験等で、小中高生向けの広報資材を活用した広報活動を行う。

⑤ SNSや県薬ホームページ等を活用して青年部活動の広報に努めるとともに、メールマガジンやビジネスチャットを活用して部員同士の繋がりを強化する。

⑥ <u>日本薬剤師会学術大会新潟開催に向けて機運醸成に協力する。</u>

(3) 地域薬剤師会の支援（継続）

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域活動の充実・強化に努める。

2　災害等対策の推進

(1) 災害対策に係る整備及び啓発（継続）

① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟県病院薬剤師会及び新潟大学医学部災害医療教育センターとの共催により研修会を開催して会員へ情報提供を行う。

② 本会と地域薬剤師会が連携して活動できるよう会議等を開催し、防災対策及び災害時の対応等について情報交換、情報収集を行う。

③ 「災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の情報伝達体制の確立と発生時の初期対応の確認等を目的とした訓練を実施する。

④ 災害発生時や感染症対策に必要な資器材を整備する。

(2) 行政等との連携協力体制の整備（<u>拡充</u>）

① 国が主催する都道府県災害薬事連携推進会議等に出席して情報収集を行う。

② 新潟県等が主催する災害・感染症対策関連の会議に出席し、行政及び他団体との連携体制の推進を図るとともに、災害薬事コーディネーターの設置に向けた育成事業に参画する。

③ 新潟県が行う安定ヨウ素剤の事前配布計画の策定に参画するとともに、地域薬剤師会と連携して薬局での事前配布等に協力する。

3　医療・介護保険制度への対応

(1) 調剤報酬改定への対応(継続)

適正な保険請求等の資質向上のため「保険薬局研修会」を開催する。

(2) 適正な保険請求の推進(継続)

適正な保険請求を推進するため、以下の事業を行う。

① 審査基準を明確にするとともに社保・国保両審査会間の質的平準化を図るため、「調剤レセプト審査委員との情報交換会」を開催する。

②「保険薬局だより」をジャニファに掲載し、保険調剤に関する情報等を会員へ発信する。

③ 保険調剤に関連する重要な通知等について、正しい理解を図るための施策を講じる。

(3) 円滑な保険薬局指導の実施への協力(継続)

関東信越厚生局及び新潟県による集団指導、個別指導等へ立会う。

(4) 社会保険等に係る会議への参加(隔年・継続)

「日薬調剤報酬改定等説明会」に出席し、会員に対して次期調剤報酬改定に関する重要な情報の伝達を行う。

(5) 関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会の開催(新規)

調剤レセプト審査の適正化・平準化に寄与するため、「関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会」を主催県として企画・開催し、情報収集等を行う。

4　薬局のかかりつけ機能強化推進

(1) かかりつけ機能強化に向けた薬剤師研修事業の実施と研修効果の向上(拡充)

薬局のかかりつけ機能強化に向け、以下の研修事業を実施する。実施にあたっては、研修効果の向上を図るため、Web研修やオンデマンド研修等を組み合わせて行う。

①「無菌調剤に係る基礎研修会」及び「無菌調剤室における実技研修」

②「使ってみよう、トレーシングレポート事例集」

③「在宅医療スキルアップ研修会」

④「小児在宅医療研修会」

⑤「在宅医療における注射薬と無菌調剤の虎の巻」

(2) かかりつけ機能強化に向けた地域薬剤師会の活動支援（継続）

薬局のかかりつけ機能強化、連携強化に向け、地域薬剤師会における「薬薬連携のための情報交換会」を開催する。

(3) 医薬品等の供給拠点としての体制を整備するための研修事業の実施（継続）

医薬品等の供給拠点としての体制を整備するため、以下の研修事業を実施する。

①「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に係る研修会」

②「健康サポートのための多職種連携研修会（研修会A）」

③「薬剤師のための認知症対応力向上研修会」

④「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」

(4) かかりつけ機能強化、対人業務の充実に向けた薬局に対する周知・啓発（拡充）

すべての薬局が「かかりつけ薬局としての基本的機能」を備え、特に対人業務を充実させるよう以下の取組を実施する。

① トレーシングレポート作成の質的向上を目指し、事例を収集し病院薬剤師と連携して添削、公表する。

② 服薬フォローアップの実施強化を呼びかけるとともに、県民へ薬局の機能に関する周知、啓発を行う。

③ 医歯薬連携の更なる強化を図るため、啓発資材を作成する。

(5) 健康サポート薬局、認定薬局制度の定着促進（継続）

健康サポート薬局や認定薬局の定着促進、充実に向け、認定薬局等を対象に活動調査を実施する。

(6) 医療安全対策に係る研修の開催（継続）

県病薬と共催し安全管理責任者の任務と医療安全をテーマとして「リスクマネジメント研修会」を開催する。

5　地域包括ケアシステムにおける医薬品提供体制等の整備

(1) 地域における薬局の在宅医療拠点の整備（新規）

薬局の在宅医療拠点を整備するため、検討会議の開催、多職種、薬局等への実態調査等を行う。特に、薬局数が限定的なへき地における薬局の在宅機能の強化、体制整備の取組を実施する。

(2) 地域包括ケアシステムの体制整備に向けた多職種連携、薬局の役割の啓発（拡充）

薬局薬剤師の在宅医療の提供体制等の整備、充実を図るため、以下の取組を実施する。

① 在宅医療における薬局薬剤師の業務の周知、啓発を行う。

②　薬剤師の職能・訪問業務に関する多職種の理解を図る、「おくすり相談会」に薬剤師を派遣する。

(3) 医薬品提供体制の整備に向けた地域薬剤師会との連携促進、支援（継続）

第8次医療計画の目標達成に向けた県内の薬局の在宅医療の推進、無菌調剤等応需体制の整備に向け、地域薬剤師会担当者を対象とした会議を開催し、地域薬剤師会との連携を図る。

また、在宅医療における注射薬の利用拡大に向け、長岡市で多職種連携会議を開催する。

(4) 介護予防等の地域活動の推進、支援（継続）

市町村における介護予防・日常生活支援総合事業を支援するため、薬剤師の派遣、育成等を実施する。

①「介護予防のための地域ケア個別会議」に参画する新任助言者研修を開催する。

②　新任助言者の育成・支援及び資質向上を図るため、「介護予防のための地域ケア個別会議」へ見学者を派遣する。

③　薬剤師の助言者の資質向上に向け、他の市町村の地域ケア個別会議の見学者を派遣する。

(5) 在宅医療に関わる薬局の体制強化（継続）

在宅医療に関わる多職種から成る「在宅ケアを考える集いin越後」に実行委員を派遣し、集いの開催に参画する。

6　地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修調整

(1) 地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修調整（継続）

地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修の円滑な実施に向け、基幹施設と連携施設との調整を行う。

7　薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上（継続）

①　実務実習の実施にあたり、薬局での受入調査を実施し、薬局と薬学生のマッチングを行う。

②　実務実習の質の向上と相互の理解を深めるため、実務実習に携わった薬局及び病院の指導薬剤師による実務実習懇談会を実施する。

③　認定実務実習指導薬剤師更新講習会及びアドバンストワークショップを開催する。

(2) 薬学生実務実習に関する情報収集（継続）

薬学生実務実習の環境整備やワークショップを円滑に実施するための会議に参加するとともに他県薬剤師会との連携を図る。

①　関東地区調整機構や日薬全国会議・関東地区ブロック会議に参加する。

②　関東地区調査機構による他県のワークショップへタスクフォースを派遣する。

8　地域保健対策の推進

(1) 薬事啓発事業の推進（継続）

① 地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため「県民のための薬のセミナー」を開催する。

② 地域薬剤師会や関連団体が主催するイベント等において、医薬品の適正使用や薬剤師の職能について県民への啓発を行う。

③ ジェネリック医薬品について県民へ正しい知識の普及啓発を図る。

④ お薬手帳や訪問薬剤管理指導、かかりつけ薬局・薬剤師、健康サポート薬局、禁煙支援等について資材を活用して県民への啓発を行う。

(2) 薬物乱用防止事業の推進（拡充）

麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止やオーバードーズへの対処法等、資材を活用して医薬品の正しい知識の啓発・普及を図る。

(3) 自殺予防対策の推進（継続）

① ゲートキーパーとしての薬剤師の資質向上を図るための研修会を開催する。

② 薬剤師のゲートキーパー養成のため、ワークショップ講師との意見交換会を開催する。

9　ドーピング防止啓発活動の推進

(1) ドーピング防止に関する啓発活動の推進（継続）

① 新潟県スポーツ協会等の他団体と連携を図り、競技団体が開催するアンチ・ドーピング剣士誘拐に講師を派遣し、スポーツファーマシストによるドーピング防止啓発活動を推進する。

② 適正なドーピング防止活動を行うために、アンチ・ドーピングガイドブック2025を会員へ周知するとともに、ドーピング防止に関する情報を会誌「ジャニファ」等で広報する。

10 医薬品販売制度への対応

(1) セルフメディケーションにかかる啓発活動の推進（継続）

① 健康サポートのための薬剤師の対応研修会（研修会B）を開催する。

② 「薬局で整備すべき薬効別OTC医薬品リスト」を更新し、ホームページに掲載する。

(2) 医薬品販売制度への対応（継続）

全ての薬局等における医薬品販売制度の法令遵守の徹底に向け、日本薬剤師会が実施する自己点検に協力して実施し、実態の把握と改善に努める。

11 薬局製剤・漢方の推進

(1) 薬局製剤・漢方の啓発（継続）

薬局製剤及び漢方に関する日本薬剤師会等からの情報を会員へ提供して啓発を図る。

12 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

フリーダイヤルの活用により、県民からの薬に関する電話相談に応じ、県民への医薬品等に関する知識、正しい使い方等の啓発・普及を図る。

13 広報情報活動の推進

(1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

会誌「ジャニファ」を年4回発行し、学術的研鑽・会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努める等、本会の活動の広報を強化する。

(2) ホームページの管理(継続)

新潟県薬剤師会に関する情報発信のため、ホームページの管理及び内容の充実を図る。

(3) 当会事業にかかる広報体制の整備(継続)

研修事業をはじめとした各種事業の広報について、会員向けの広報活動について課題を把握して改善を図るとともに、各委員会等と連携して会員及び県民等に向けた効果的な広報を検討する。

14 学術研究・生涯教育の推進

(1) 学術研究の支援(継続)

会員の研究発表を支援するため、新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学と共催して新潟薬学会を開催する。

(2) 研修会の共催・後援(継続)

他団体と共催して研修会を開催するとともに、他団体が主催する研修会等を後援して、会員の生涯教育の充実を図る。

(3) 薬剤師の生涯学習の推進(継続)

① 効果的な薬剤師の生涯学習を推進するため、地域薬剤師会と連携して薬剤師の生涯学習の環境整備を図る。

② 地域における薬剤師の資質向上を図るため、地域薬剤師会と共催で研修会を開催する。

15 学術研究倫理審査への対応

(1) 学術研究倫理審査の実施(継続)

人を対象とする生命科学・医学系研究を倫理的及び科学的観点から審査するために学術研究倫理審査委員会を開催する。

(2) 研究倫理に関する研修等の支援(継続)

① 日薬JPALSの活用を会員に周知する等、研究推進のための支援をする。

② 日薬が主催する研究倫理に関する全国担当者会議等に参加する。

16 医療DX化への対応

(1) 医療DX化の促進及びICTの活用(継続)

① オンライン資格確認や電子処方箋、オンライン服薬指導等に関する情報提供により、医療DX化への対応を促進する。

② 日薬研修プラットフォームの活用により薬剤師の自己研鑽を支援し、資質向上を図る。

17 部会活動の推進

(1) 学校薬剤師部会(拡充)

① 学校薬剤師活動の推進

学校薬剤師部会の幹事会を開催するとともに、地域薬剤師会への情報提供及び現状把握のために学校薬剤師地域担当者会議を開催する。また、地域の検査実施状況、学薬報酬等の問題を把握し改善するために地区ミーティングを開催する。

② 日本薬剤師会学校薬剤師部会との連携

北陸信越ブロック連絡会議(石川県)に出席し他県と情報交換を行うとともに、2024年度全国学校保健調査に協力する。

③ 検討班(仮称)活動の実施

薬品管理、環境衛生、健康教育、学校薬剤師活動状況調査の各検討班において、事業の見直し及び調査の実施、研修会の企画等の活動を実施する。

④ 学校薬剤師の資質向上の推進

くすり健康教育研修会及び学校薬剤師研修会を開催し、薬物乱用防止・くすり教育、環境衛生検査等に関する学校薬剤師の資質向上を図るとともに、日薬学校薬剤師学術フォーラム、日薬学校薬剤師部会くすり教育研修会、学校環境衛生検査技術講習会、北陸信越薬剤師大会・同学術大会に参加し、学校薬剤師活動に関する研究を発表する。また、全国学校保健・安全研究大会及び全国学校薬剤師大会へ参加して研鑽を図る。

⑤ 新潟県及び関係団体との連携

新潟県教育委員会と学校環境衛生検査及び保健活動に関する情報交換を行うとともに、新潟県に対し検査機器の整備、報酬改定等を要望し、学校薬剤師活動の環境改善を図る。また、新潟県学校保健会、新潟県学校保健学会と連携して活動の充実を図る。

⑥ 講師派遣

新潟県教育委員会、新潟県立教育センター、新潟大学教育学部が開催する研修会等へ講師を派遣する。

(2) 病院診療所薬剤師部会（継続）

① 薬剤師の質の向上及び薬局薬剤師と病院薬剤師の連携強化

中小・療養病院の薬剤師の質向上のための研修会及び診療報酬または地域連携に関する研修会として、新潟県病院薬剤師会との共催により「薬剤業務セミナー」を開催する。

② 薬局薬剤師業務の理解向上を目的とした病院診療所部会員への情報発信

県薬から発信されるメールニュースを県病薬の会員メーリングリストを通じて部会員等へ再配信し、相互理解の向上を図る。

③ 病院薬剤師確保に向けた現状と課題の調査

県内施設における病院薬剤師数の充足率及び課題の調査を実施する。

(3) 卸勤務薬剤師部会（継続）

医薬品卸に勤務する薬剤師の自己研鑽のため、実務に即した研修会等のより一層の充実と、行政や薬学教育協議会等との連携を強化した活動を実践する。

18 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携（継続）

① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会に参画して、関係団体との連携を強化する。

② 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ参画し、県民を対象とした「健康寿命延伸フォーラム」へ協力する。

③ 三師会社会保険担当理事連絡協議会に参画し、各師会における指導状況等について情報交換を行う。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携（継続）

新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化する。

(3) その他の関係団体との連携（継続）

① 新潟県健康づくり財団

② 新潟県歯科保健協会

③ 新潟県看護協会

④ 新潟県栄養士会

⑤ 社会保険診療報酬支払基金新潟支部

⑥ 新潟県国民健康保険団体連合会

⑦ 新潟県後期高齢者医療広域連合

⑧ 新潟県スポーツ協会

⑨ 新潟県学校保健会
⑩ 新潟薬科大学
⑪ その他関係団体

19 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会への参加（継続）

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努める。

(2) 日薬（北陸信越）ブロック会議への参加（継続）

日薬（北陸信越）ブロック会議に出席し、日薬事業の確認と日薬及びブロック内の情報・意見交換を行う。

20 薬剤師学術大会等への対応

(1) 日本薬剤師会学術大会開催の準備（拡充）

① 日本薬剤師会学術大会の新潟開催に向けて大会運営委員会を開催するとともに、企画準備推進チームを中心に、運営受託会社との企画・運営に関する連絡調整を行う。
② 日本薬剤師会学術大会へ役員等を派遣して新潟開催に向けて広報及び情報収集を行う。

(2) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会に関する情報提供（継続）

① 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会の開催に関する情報を会員へ提供して演題発表等を支援する。
② 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会に役員等を派遣して情報収集を行うとともに会員へ情報提供を行う。